

学校教育目標	「高め合おう つながろう 未来をつくる元石川の子」				
	《知》 進んで問題に取り組み、解決し、学ぶ楽しさや喜びを感じる力を育てます。 《徳》 自分も人も大切にできるやさしさと勇気を育てます。 《体》 自他の命を大切に、心身ともにたくましく生きる力を育てます。 《公》 家庭や学校、地域での自分の役割を理解し、他者と協働する心を育てます。 《開》 多様な人とのつながりを大切に、社会の変化に対応できる力を育てます				
学校概要	創立 47 周年	学校長 鈴木 彰	副校長 榮谷 智之	2 学期制	一般学級：13 個別支援学級：3
	児童生徒数： 420 人 主な関係校： 山内中学校 ニチキッズ美しが丘保育園 かえで幼稚園				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	山内中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<問題発見・解決能力> <人とのかかわり・コミュニケーション能力>	山内中学校 山内小学校 新石川小学校 美しが丘西小学校	思いやりや感謝の気持ちをもち、互いを尊重し合って生活できる子ども。 自ら進んで問題解決に取り組み、学ぶ楽しさを感じ、他者と関わり合いながら考えを深め、行動できる子ども。 学校・家庭・地域・社会などの多様なかかわりを大切に、社会の変化に柔軟に対応しながら未来をつくる子ども。 ① キャリアパスポートの効果的な活用 ② 小中合同授業研究会 ③ 人権教育・子ども会議 ④ 人権講演会 ⑤ 中学校の授業参観、中学校紹介、部活動体験、吹奏楽部出張演奏等を通して義務教育9年間で貫く児童の育成と職員の意識改革を並行して行っていく。

中期取組目標	「PLAYERS FIRST!」を合言葉に、子どもを大切にし主役として位置づけ、誰もが生き生きと成長する学校にします。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで問題に取り組み、解決し、「できた」「わかった」と子どもが実感する授業を構築します。</li> <li>・子どもの気持ちを考え、子どもに寄り添う指導を心がけます。</li> <li>・保護者や地域とつながり、様々な学びの環境を教育に生かします。</li> <li>・教師自身も成長し続ける職場を目指し、チームで子どもたちを育てます。</li> </ul>

重点取組分野		具体的取組	
知	授業力の向上	①「できた」「わかった」と子どもが実感する授業を構築する。 ②「魅力ある授業」のあり方について、仲間と考え合う。 ③「授業のユニバーサルデザイン」を推進する。 ④「知識を身に付ける」ための指導のほかに、「学び方を身に付ける」指導を行う。	
担当	評価プロジェクト		
徳	豊かな心		①道徳、学級活動、朝会、人権週間を活用し、他者と自分を大切にすることを理解し実践できるように意図的に授業や活動を行う。 ②1年間を通して縦割り集会を行い異年齢同士のつながりを強化し他者を思いやる気持ちを育てる。
担当	児童指導プロジェクト		
体	健やかな体	①学校保健委員会で1年間のテーマを決め、そのテーマに沿って各クラスで具体的な取組を決めて健康な体作りを行う。 ②縄跳びやボール運動を取り上げ、学校全体の目標記録を設定した縄跳び大会や元小オリンピックを実施し、体力の向上に励む。	
担当	養護部・体育部・特活部		
公開	自分づくり まちとのつながり	①自分づくりパスポートを活用し、今の自分と未来の自分を見つめ、将来に夢を持って臨むキャリア教育を推進する。 ②地域防災拠点やはぐくみの会(PTA)と連携して地域防災訓練に取り組み、まちの安全を守る学び・まちの中で役立つ自分・まちの活動に参画する喜びを体験する。	
担当	安全プロジェクト・特活部		
いじめへの対応		①いじめ防止のために児童へのアンケートを複数回行い、実態把握に努める。面談も実施する。 ②いじめが起きた場合は、チームとして迅速に対応し毅然とした態度で指導する。保護者との連携もと、家庭と学校で共通した認識のもと解決を図る。	
担当	児童指導プロジェクト		
人材育成・ 組織運営(働き方)		①低・中・高学年にブロック主任を設置し、ピラミッド型のチームで取り組める組織体制をつくる。 ②キャリアステージに応じた授業研究会や研修会に参加し自ら教師力向上に努める。 ③教職員室アシスタントの活用、業者委託などで業務改善を図り、業務に集中できる環境を整える。	
担当	教務部		
特別支援教育		①学習のユニバーサルデザイン化、YPアセスメントや個別の支援計画の作成、特別支援教育研修等を通して、支援や指導の充実を図る。 ②全校の配慮を要する児童を全職員が把握することを土台とし、特別支援校内委員会を活用し、要配慮児童に寄り添ったきめ細かい対応を進める。	
担当	特別支援教育		
児童指導		①「元小スタンダード」に基づいて全職員が共通した指導を行う。 ②トラブルを未然に防ぐためにきめ細かい行動観察を行う。毎週の打ち合わせで児童の様子を共有化し、その後の教務会で対応協議し、いじめ防止対策委員会を開催する、という3段階の児童指導対応体制を構築する。	
担当	児童指導プロジェクト		
保護者・地域連携		①積極的に学校から、学校だより・学校ホームページ・学級だより・メール配信等で情報発信を行う。 ②公的機関や企業等の出前授業等を取り入れ、学校外の人材と連携して豊かな教育活動を推進する。	
担当	教務部・渉外		
学校運営協議会		①年7回の会議を開催し、授業参観や行事参観等も通して学校が抱える課題を情報共有し、学校にとって有効なご示唆をいただき地域と共に学校づくりを行っていく。 ②校内の話題にとどまらず、地域行事や防災の取組などにも触れ、学校と地域が共に成長する関係を構築する。	
担当	教務部		